

バイサイドユーザーの戦略における API の活用を探る

データサイエンスとテクノロジー
Raquel Svec 2023年1月16日

デジタルトランスフォーメーションとオフプラットフォームソリューションの需要が高まるにつれ、API を介したデータへの柔軟なアクセスとパーソナライゼーションは、バイサイドのユーザー戦略においてますます大きな役割を果たすようになってきました。ユーザーは現在、複雑なワークフローを向上しつつ目標を達成できるような、自動化かつカスタマイズされたソリューションを求めています。

API はバイサイドのユーザーにとって独自の必要不可欠な財務データへの迅速なアクセスができるようになるだけでなく、不要なサービスを課金されることなく、必要サービスを利用できるようにする柔軟なパーソナライズされたメリットがあります。

分析やレポートを自動化している API を長期的に利用するユーザーには、これまでに作成、蓄積されたスクリプトやファイル、設定があります。これらのものは、重複または不正なデータや計算、タイミングのずれ、利用されていない、または過剰な生データの存在など、市場投入までの時間の増大やブレイクポイントを引き起こすようなオペレーショナルリスクが潜んでいます。しかし、それらは氷山の一角にすぎません。その技術的な負債を解き明かすことに加え、ユーザーは必要なときに必要なものだけを調達できるよう、より適用性の高いポートフォリオデータの呼び出しを必要としています。

バイサイドの活用例

ポートフォリオ分析

ポートフォリオ分析 API では、社内システムの中で、パフォーマンス、リスク、スタイル、特性値の測定がポートフォリオやアセットクラス単位で行えます。ポートフォリオのリターンや独自の設定や計算、パフォーマンスのソース確認、ポートフォリオ構成銘柄の最新のバリュエーションや取引履歴の確認、バークレイズ、FTSE、MSCI、S&P といった利用可能なベンチマークに対する特性値やウェイトの比較ができます。API では最新の残高データをアップロード、編集、受信ができるため、現在のポートフォリオのパフォーマンスをリアルタイムで評価することができるようになります。

コンコーダンス、ESG、発行条件

個々のデータセットのコンテンツ固有のエンドポイント（ESG スコア、ソーシャルメディア、標準化されていない企業公開情報）と調整可能な数式ベースのエンドポイント（コンテンツを横断するリクエストやユニバース構築、マーケットデータのリサーチや意思決定をするサポートする独自に定義されたビジネスロジック）で、バイサイドにおける業務をより効率的にする方法がいくつかあります。

- ID をマッピングするコンコーダンスの API では、名称や URL、所在地といった属性のリストに基づいて特定のエンティティ（企業・発行体）の ID へのマッピングがプログラムで自動的に紐づけでき、アプリケーションの開発者やデータサイエンティストにとって便利です。
- これらの API では様々なデータセットと混在している構造化データと非構造化データを連携させ、ワークフローを円滑化させます。さらに、データを Tableau や Power BI をなどの内部アプリケーションやサードパーティアプリケーションにシームレスに統合させ、ユーザーの任意の開発環境で必要なデータにアクセスできるようにすることで、開発者はアプリケーションの設計や機能を柔軟にコントロールすることができます。
- ESG API では機械学習を活用して客観的な ESG の視点を提供しており、企業の行動に基づいたリスクや機会の特定が行えます。データは集約、分類され、タイムリーなマテリアル ESG スコアの算出が行われます。
- Terms & Conditions API では、社債、政府債、政府機関債の発行条件（オファーの詳細や償還情報、クーポンスケジュール）を明らかにします。

ファンダメンタルズ、資本構造を分析するためのレポート作成環境

レポート作成 API は、ユーザーが社外データプラットフォーム以外の必要なデータにアクセスするための環境を提供しており、使用データの収集やパッケージ化、フォーマット作業の負担を軽減できます。バイサイドの資産運用会社は、開発コストを抑えながら効率的なデータ収集や

FACTSET

準備が行えることで、より多くの時間をデータ分析やビジュアライゼーションに費やすことができます。ここでは、このような API が資産運用にもたらす価値をいくつか紹介します。

- ファンダメンタルレポートビルダーAPI は、業界独自の財務情報を、素早く表示し分析することができます。テンプレートを管理、編集する必要がなく、エンドユーザーは、関連性の高い財務情報を統合、作成するのに集中することができます。
- 負債資本構造の焦点を当てた資本構造レポートビルダーAPI では、証券レベルから企業レベルまで変化を事前に計算することで、現在の負債状況がすぐに把握できるソリューションを提供します。この負債資本構造のエンドポイントを活用すると、研究開発（R&D）や複数のデータベースでの管理、開発の必要がなくなり、今後の資本イベントの予測のガイドとして役立つことができます。

シームレスな統合はもはやあればよいものではなく、必須

API は、特定のプラットフォームの以外のデータにアクセスできるという利点があります。よりデータの効率的な収集や準備を通して、バイサイドの資産運用会社は開発コストを抑えながら、データ分析や視覚化を最適化するための時間を確保することが可能です。

いくつかのレポート API を組み合わせることで付加価値を与える方法には、次のようなものがあります。

- 業界特有の財務情報を素早く表示、分析。テンプレートの管理や、開示の変更に伴い生じる継続的な編集作業に囚われず、高い利便性を確保し、常に関連性の高い財務情報が入手できるようになります。
- 証券レベルから会社レベルへの変化を事前に計算することで、現在の負債に対してすぐに利用できるソリューションを提供するエンドポイント。これを活用することで、リサーチ業務のユーザーはこの非常に価値のある債務計算に簡単にアクセスでき、R&D、マルチデータベース管理、およびその他の時間とコストのかかるプロセスへの投資を必要とせずに、今後の資本イベントへの予測を高めることができます。

独自のコンテンツを引き出し、一つのシステム上で幅広いマーケットデータとシームレスに統合させることは、もはやあればよいものではなく、非常に重要なものです。一部のリサーチマネージメントのソリューションでは、独自の社内リサーチ情報を管理し、アナリストやポートフォリオマネージャー、トレーダーといった他部署のメンバーとコミュニケーションを持つことができる特定の領域を提供するソリューションがあります。

ビジネスの継続性と冗長性という両方のニーズに対応し、社内リサーチのノート、ミーティング、その他の調査内容を呼び出し、他のツールやクライアントポータル、独自のインターフェースへリアルタイムに統合するためのチャネルを提供します。さらに、ファンド、プライベートエクイティ、その他の非上場企業へ投資するのを手助けするために、必要なメタデータに沿ってカスタムでのリサーチ ID を割り振り、管理することができるようになっていきます。

機会学習と自然言語学習処理によるイノベーション

テクノロジーが金融サービスの環境を指数関数的に変化させ続ける中、バイサイド企業はコストの削減と非効率性の解消を目指しながら、より多くのアクセスや透明性を求めており、API はこれを達成するための 1 つの方法と言えます。膨大な量のデータが継続的に収集されているため、すべてのデータの力を活用するのは、簡単にアクセスできる人工知能（AI）なしでは不可能な作業となっています。

金融情報のプロバイダーは、人工知能と機会学習のテクノロジーを活用して、情報を発見、評価、および行動に繋がるよう変革させます。固有表現抽出（NER）は、自然言語処理（NLP）を使い、ドキュメント内にあるエンティティを検索して抽出することにより、非構造化されたテキストドキュメントの構造化を行います。[財務諸表でトレーニングされた NER サービス](#)では、企業、人物情報、所在地、健康状態、薬品名、数値、金額、日付を抽出し、その後、企業を業界標準の ID にマッピングし、タグ付けされた企業を他の関連するコンテンツセットに連携できるようにします。

バイサイド企業は NER API を使えば、リサーチ力を向上させ、社内リサーチノートへのタグ付けを行うことができます。これにより、メモに記載されている企業や個人が他のデータセットへ連携され、最終的には、アイデアを結びつけて意味のあるコンテンツに変換するプロセスが合理化されます。バイサイドのウェルスマネージャーにとって、富裕層向けの重要なニュースを特定し、ウェルスマネージャーが情報抽出するのに役立ちます。

まとめ

様々なユーザーの課題を軽減するためのソフトウェア開発キット（SDK）とレシピを提供する FactSet の [Developer Portal](#) のようなカスタマイズおよび自動化されたソリューションは、バイサイドのワークフローの未来です。これらのソリューションが進化し続け、新しいユーザーにメリットを提供するにつれて、API、人工知能、クラウドコンピューティングなどを取り巻く革新的な技術トレンドを取り入れる企業が増えています。

免責事項:この記事に含まれる情報は投資アドバイスではありません。FactSet は、投資を推奨または推奨するものではなく、この記事に含まれる情報に基づいて取られた行動または不作為に直接的または間接的に関連する結果について責任を負いません。